

第15回分野別セッション(新材料・ナノ材料)を開催

「あったらいいな..がある！名工大の新材料開発・解析技術」

セッションコーディネータ 猪股 克弘 教授(写真中央)

「未来材料への一步はナノ表面解析技術」 吉野 明広 准教授(写真右から2番目)

(キーワード:有機-無機ハイブリッド、界面科学、表面計測技術)

「シリコン含有透明アクリルハイブリッド材料の開発」 杉本 英樹 准教授(写真右)

(キーワード:透明、シリコン、アクリル樹脂)

「室温プロセスによるフレキシブル透明デバイスの開発」 種村 眞幸 教授(写真左から2番目)

(キーワード:表面機能化、ナノ材料・構造、プラスチック、ヘッドアップディスプレイ)

「ナノ結晶、ナノ細孔を用いた新概念の蛍光体開発」 早川 知克 准教授(写真左)

(キーワード:蛍光体、ガラス、ナノ結晶、細孔、ゾルゲル、LED、FED)



第15回分野別セッションを5月11日(火)に開催しました。本学において活発に研究されているナノテクノロジーについて、興味深い話題提供がなされました。参加者は会員が9社9名、役員、学内からは17名、合計で26名でした。話題提供の講演後、技術懇談会への参加率は高く、講師陣と熱心な懇談が行われ盛況なセッションとなりました。

第16回分野別セッション(安全・安心・快適ライフ)を開催

「情報工学と建築学から 安全・安心・快適を解き明かします」

セッションコーディネータ 犬塚 信博 教授(写真中央)

「音による周辺環境認識(危険察知補助システム)」 黒柳 奨 准教授(写真右から2番目)

(キーワード:聴覚情報処理、ニューラルネットワーク、サウンドウオッチャー、危険察知、聴覚障害者支援)

「ブレイン・マシン・インタフェースの実社会への応用を目指して」 船瀬 新王 助教(写真左)

(キーワード:脳波、眼球運動、運動予測、脳波インタフェース)

「統計モデルに基づいた手話の認識・合成の展開」 酒向 慎司 助教(写真右)

(キーワード:手話の認識・統計モデル・音声認識・画像認識・指文字合成)

「介助のある高齢者の食事空間から被災地・災害地までの住環境の向上」 北川 啓介 准教授(写真左から2番目)

(キーワード:建築、高齢者、食事、介助、行為、付加価値)



第16回分野別セッションを7月26日(月)に開催しました。話題提供の講演では、本学で研究されている、日常生活を豊かにするための情報工学、建築学について、様々なアイデアが紹介されました。参加者は会員が16社19名、役員、学内からは15名、合計で34名でした。セッション後は「共同研究をしたい」との希望も多く、会員、講師陣共に、有効なシーズ発掘の場となりました。

江川孝志教授が文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞

文部科学省による文部科学大臣表彰において、大学院工学研究科江川孝志教授が平成22年度科学技術賞(科学技術振興部門)を受賞しました。この受賞は、同教授の窒化ガリウム結晶成長とデバイスの実用化に関する活動が、科学技術の振興に顕著な成果を収めたことを評価されたことによるものです。

内田正哉氏の研究が英国の科学雑誌『Nature』に掲載

大型設備基盤センター・特任専門職員である内田正哉氏の研究が、4月1日発行の英国の科学雑誌『Nature』に掲載されました。本研究は、内田氏が独立行政法人理化学研究所在籍時の研究で、自由空間の電子に新しい性質「軌道角運動量」を発見したというものです。この成果は、量子力学研究や素粒子実験などの基礎研究だけでなく、革新的な電子顕微鏡の開発など幅広い分野に寄与するものとして期待されています。

～表面分析装置 利用後のご感想紹介～

会報21号にて、大型設備基盤センターの表面分析装置を、民間企業等学外の方にご利用頂ける事業をご紹介しました。本事業は、相談から始まり、望む分析結果が得られるまで、皆様が適切なご利用ができるように支援するものです。貴社の研究開発に、本学の表面分析装置をぜひご利用下さい。早速、ご利用になった会員様のご感想を頂いておりますので、以下にご紹介いたします。会員の皆様も是非この無償補助制度等をご活用ください。

■東海高熱工業株式会社 坂本和久様より  
名工大の表面分析装置ESCAにより、原料粉末の表面状態を分析いただきました。弊社はセラミック製品を製造販売しており、原料の違いが製品の品質に大きな影響を与えますので、原料特性を把握することは重要です。これまで、明らかに製品のできばえ品質が異なる2種類の原料について、その特性の違いを様々な評価方法で調べていたのですが、違いがわからず諦めておりました。今回、その2種類の原料をESCAにて分析してもらったところ、特性の違いがはっきりとわかりました。今後、ESCAのデータ数値の補正・解析手法がもっと充実できれば、さらに有益な分析手法として活用できると思います。

■丸八建設株式会社 中島健蔵様より  
この経済ご時世で土木関連の発注も減少しつつあり、新規事業にも進出を進めています。そのため、分析が必要ですが当社には全くありません。先日、3月、名工大の共用促進事業の説明会を協会の案内で知り、いま、原料の酸化物の分析で活用させていただいています。分析とともに開発で不明なことも含めアドバイスにも対応していただけており、中小企業の研究開発にとってはありがたいと思います。

研究協力会事務局より

浜田恵美子先生の特別講演会、「イノベーションの源流～CD-Rの生まれるまで～」DVDの無料貸し出しを行っています。会員様のイノベーション創出のお役に立てて頂ければ幸いです。貸し出しをご希望の会員様は、研究協力会までFAXまたはE-Mailでお問合せ下さい。

今後の事業予定

- ・名工大・名古屋市合同テクノフェア  
平成22年11月17日(水)  
会場:名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)
- ・分野別セッション企画会議  
平成22年10月初旬
- ・第17回分野別セッション  
平成22年11月下旬

〈入会申込・お問合せ先〉

名古屋工業大学研究協力会事務局  
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町  
名古屋工業大学 産学官連携センター内  
事務局長:近藤 慶子  
Tel. Fax: 052-735-5538  
E-mail:kyoryoku-pal@adm.nitech.ac.jp  
\*研究協力会HPもご覧下さい。  
<http://partner.ccr.nitech.ac.jp/>  
行事案内・入会案内・事業報告は、このサイトで見ることができます。  
\*ご担当者や連絡先(Tel.Fax.E-mail)が変更になった場合は、ご一報ください。

発行 名古屋工業大学研究協力会事務局  
平成22年 8月 1日発行(年3回発行)

産学連携の良きパートナーとして

名古屋工業大学理事 産学官連携センター長 木下隆利

名古屋工業大学研究協力会の会員の皆様には、平素よりのお力添えに心から感謝申し上げます。

6月4日に開催された第11回総会では、昨年度の各種講演会・セミナーや研究会等の活発な活動が報告される一方、景気の低迷による会員数の落ち込みも底を打ち、新たな企業・個人会員による会員増強の傾向が見られるなど、新事務局長、近藤氏のきめ細かな戦略が徐々に実を結びつつあること等が報告されました。また、今年度については、アンケートに基づき「分野別セッション」を研究分野型から課題解決型へ移行して、会員の有効利用を促進したことや、先端研究施設供用促進事業(文部科学省)推進の一環として、本学の大型設備基盤センターが誇る「表面分析装置」を対象に、会員の特典をフルにご活用頂ける企画等が新たに盛り込まれました。

総会の特別講演会では、本学産学官連携センターの浜田氏により、「イノベーションの源泉～CD-Rの

生まれるまで～」と題する講演が行われました。イノベーションに対する独自の理念と、これを商品化するまでの情熱が会場に伝播し、引き続き懇親会では、その余韻が更に増幅されていました。

ものづくりに対する底知れぬ興味と社会貢献への情熱を胸に、新しい発想での技術進化を使命とする本学が、次世代の新製品・新産業創出の起点となることを願っています。

今後とも、産学連携の良きパートナーとして、名古屋工業大学への一層のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



名古屋工業大学理事  
産学官連携センター長  
木下隆利

名古屋工業大学研究協力会 第11回総会概要

日時:平成22年6月4日(金) 会場:名古屋工業大学講堂会議室

総会

会員の出席51、委任状83、合計134が在籍会員数187の過半数を超え、会は有効に成立致しました。石丸典生研究協力会会長および高橋実学長よりご挨拶を頂き、下記議題を審議したところ、承認事項については全て承認頂き、報告事項については、特に質問等はございませんでした。そして、議題終了後に、研究協力会の事業内容等についてご質問を頂き、役員および事務局長より回答させて頂きました。

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| 1.平成21年度事業報告(報告事項)       | 2.平成21年度決算報告および監査報告(承認事項) |
| 3.平成22年度事業計画(報告事項)       | 4.平成22年度予算案(承認事項)         |
| 5.平成平成22年度役員および顧問案(承認事項) | 6.産学官連携センターの活動について(報告事項)  |

お知らせ;

平成23年度の総会は、6月10日(金)に、開催いたします。

目次: 木下産学官連携センター長挨拶、研究協力会第11回総会概要 ..... 1  
特別講演会「イノベーションの源流」 ..... 2  
世界唯一、「界面微生物工学研究所」の研究テーマとは ..... 3  
第15、16回分野別セッション実施内容、その他 ..... 4